

巻頭言

第1章	令和6年度スーパーサイエンスハイスクール研究開発実施報告	1
第2章	実施報告書(本文)	
第1節	研究開発の課題	11
第2節	研究開発の経緯	12
第3節	研究開発の内容	
	併設型中高一貫教育校として、学際的な理数教育と探究の「問い」から価値を創造する授業デザインの実践	
1.	研究開発の時間的経過(1年間の流れ)	14
2.	6クラス2コース編制、観点別評価の適切な実施	15
3.	中学校「Junior Well-Being(JWB)」	19
4.	中学校「Junior Technology(J-Tech)」	20
5.	高校1年「未来科学」	22
6.	高校2年3年「探究化学」「探究物理」「探究生物」	24
7.	高校1年2年3年「探究数学Ⅰ」「探究数学Ⅱ」「探究数学Ⅲ」	28
8.	探究の「問い」を創る授業—シラバスとルーブリック	32
	併設型中高一貫教育校として、社会と共創するためにUTO-LOGICを駆使する探究活動の実践	
1.	研究開発の時間的経過(1年間の流れ)	34
2.	宇土未来探究講座Ⅰ～Ⅲ 【中学1年・2年・3年】	35
3.	ロジックプログラムⅠ 【学校設定科目・高校1年】	37
4.	ロジックプログラムⅡ 【学校設定科目・高校2年】	43
5.	ロジックプログラムⅢ 【学校設定科目・高校3年】	48
6.	UTO Well-Being 探究 Award, ロジックスーパープレゼンテーション 【全学年】	49
7.	国際性を高めるプロジェクトGLP 【全学年希望者】	51
8.	社会との共創プログラム	55
9.	科学部活動の活性化	58
	学校設定科目「Well-BeingⅠ・Ⅱ」の開発とシチズンサイエンス「ウェルビーイング市民公開講座」の実践	
1.	研究開発の時間的経過(1年間の流れ)	60
2.	高校1年「Well-BeingⅠ」	61
3.	高校2年「Well-BeingⅡ」	63
4.	シチズンサイエンス「ウェルビーイング市民公開講座」	65
5.	ウトウトタイム	66
第4節	実施の効果とその評価	67
1.	生徒・教職員・保護者への効果	
2.	学校経営への効果	
第5節	校内におけるSSHの組織的推進体制	73
第6節	成果の発信・普及	74
第7節	研究開発実施上の課題及び今後の研究開発の方向性	77
第3章	関係資料	
第1節	教育課程表	79
第2節	運営指導委員会の記録	81
第3節	教育課程上に位置付けた課題研究における生徒が取り組んだ研究テーマ一覧	85
第4節	研究開発実施報告書における用語集	89
第5節	開発独自教材一覧	90
第6節	研究開発の分析の基礎資料となったデータ	91
	報道資料	97